

平成26年度 健康・衛生週間特別講演会のお知らせ

都内公園の蚊により媒介されたデング熱発症やアフリカでのエボラ出血熱の大陸外伝播など、日本でも多岐にわたる感染症対策が求められています。グローバル化する現代社会において、否が応にも必要最小限の感染症に関する知識、それに対する対策を理解していなければなりません。

そこでこの度、リベリアでのエボラ出血熱対策に尽力されている国際医療研究センター国際感染症対策室の加藤康幸先生をお招きして下記のご講演をいただくことになりました。

本学教職員、学生だけでなく近隣住民の方々にも是非ご参加いただき、これを機会に国際感染症に関する理解を深めていただければと存じます。

記

日 時：平成26年10月2日(木) 15:30 ～ 17:00

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス
東工大蔵前会館1階 くらまえホール

講演題目：「世界の感染症動向と地球規模の感染症対策」
ー日本での感染症対策はどうあるべきかー

講 師：国際医療研究センター 国際感染症対策室医長
加 藤 康 幸 先生

聴講対象：本学教職員、学生及び一般の方々
事前申込は不要です。当日会場にお越しください。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
人事課労務室 栗岩・佐藤・松本
(内線 3343・3345・7186)

東京工業大学 健康・衛生週間特別講演会

世界の感染症動向と 地球規模の感染症対策

—日本での感染症対策はどうあるべきか—

日時：平成26年10月2日（木）15:30～17:00

会場：東京工業大学 大岡山キャンパス
東工大蔵前会館1階 くらまえホール

参加：無料（定員360名）

参加申込は不要です。当日お気軽にお越し下さい。
※講演時のカメラ・ビデオ等の撮影はご遠慮いただきます。

講師

加藤 康幸 先生（医師）

（独）国立国際医療研究センター 国際感染症対策室医長

＜主催＞人事課労務室（内線 3344）/総合安全管理センター ＜共催＞保健管理センター